

科目名	人文学講読演習Ⅲ 1 - 4					単位	2.0
担当教員	小久保 嘉紀						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	3224

●授業のテーマ

日本史史料演習 I

●到達目標

「今まで日本史の授業で習ってきたことは、本当にそうだと言えるのだろうか？」当時の史料にもとづいて確認してみると、まったく違うイメージがあらわれることも多い。史料を読解することで、歴史を問い直す力を身につけたい。

なお、前期で対象とする時代は、古代から中世まで。

●学習内容(授業概要)

受講者がそれぞれ割りあてられた部分について発表する演習形式とする。ただし、最初から演習発表をするわけではなく、次のようなステップを踏んで発表へと至りたい。

- ①史料についての基礎知識
- ②史料の読み下し
- ③史料の読み下し+現代語訳
- ④演習発表

なお、毎回授業の最後に、授業のまとめと感想を書いて提出することで出席にするため、自分が発表する回でなくても、注意深く発表者の発表を聞いてもらいたい。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション
2. 古代・中世史料学
3. 飛鳥時代とその史料
4. 奈良時代とその史料
5. 平安時代とその史料
6. 鎌倉時代とその史料
7. 南北朝時代とその史料
8. 室町時代とその史料
9. 戦国時代とその史料①
10. 戦国時代とその史料②
11. 戦国時代とその史料③
12. 演習発表①
13. 演習発表②
14. 演習発表③
15. 演習発表④

●準備学習・事後学習の内容

自分が担当する部分の演習準備はもちろん、自分が担当する以外の部分もあらかじめ目を通してること。

●成績評価方法・基準

演習発表（40%）＋レポート（30%）＋平常点（30%）

●テキスト（必携）

- ・『日本史史料 1 古代』（岩波書店）
- ・『日本史史料 2 中世』（岩波書店） など

※テキストはコピーして配布する。

●参考文献／その他

●履修上の注意

高校で日本史を履修していない者や、留学生で初めて日本史を学ぶ者も受講可能だが、各自で補う努力はすること。また当然のことながら、演習発表ではコピー厳禁。